

改めまして新年あけましておめでとうございます。昨年中は皆様方には大変お世話様になり、お陰様で無事大過なく新しい年を迎える事が出来ました。

ありがとうございました。

本日は恒例となりました新春賀詞交歓会をご案内申し上げましたところ、3選目を大勝されました鈴木市長、衆院選では8選目を大差で当選されました浜田衆議院議員を始めと致しまして、県議会からは川名、石井両県議会議員、市議会からは安藤、三浦正副議長、そして多くの市議会議員の方々、行政からは武次副市長、市幹部職員にもたくさん御参席頂きました。また、地元産業経済界からは、本年50周年を迎えられます井上君津製鐵所長、鶴田観光協会会長、JA齊藤組合長、本吉教育長、新井文化協会会長、山中福祉協議会会長、自治会連合会長さん、更には木更津商工会議所鈴木会頭などの多数の方々のご臨席を賜り、新春賀詞交歓会にふさわしい盛大な会とさせて頂きました事は主催者と致しましては誠にありがたく厚く御礼を申し上げる次第であります。

本年、アベノミクスはいよいよ3年目を迎えました。振り返ってみますとすべての人々の夢は叶えさせてはくれませんでした。失われた20年、宮沢首相から始まって19代14人の首相が果たせなかった不況からの突破口を開き、私に新たな勇気と自信を与えてくれました。昨年安倍首相は世界61か国歴訪して、信頼と言う太い絆を作ってくれました。君津市も鈴木市長が3選され、「観光産業を中心に清和観光センター、フルーツライン、市内30分構想等を実現させ、地場産業をより活性化する」と力強い意欲を示して下さいました。政治や行政がしっかりと根を張った太い幹を作ってくれたならば枝を広げ、花を咲かせ実を実らせるのは私達産業経済に関わる者の仕事であり役目であります。

羊年は変化の出発点となる年と言われております。

これからの地方財政を考える時、国や市に対して何かを求め、何かを待つのではなく、自分達は何を目指すのか、自分達の地域、まちはどうあるべきか、今まで画いてきた夢をはっきり実行に移す決心をして頂きたい。何か一つ起こせば次へと経済は連動するものであります。

鈴木市長さんの年頭の辞に言われた「地方創生のモデルは君津から」との意気込みを私達市民も持つべきであります。全国的に財政難が心配されておりますが、君津市は全国1765市町村中、極めて上位にあります。企業誘致、人口増加も必要であります。他力本願でなく、先ず自分達の財産は自分達で守る自力本願の考えも大切であります。

鈴木市長が実行されておられる1%支援事業は、これから市民一体の健全財政を目指す事業として極めて必要不可欠な事業であり、重ねて推奨申し上げます。

終わりに私共商工会議所も市民の皆様のお蔭で今年20周年を迎えることが出来ました。事業内容、自主財源率、会員加盟率、女性会、青年部の会員数や各種事業活動は県下で最も充実した会議所であると自負の念を持って居ります。私共の20周年は全会員参加型による感謝の記念事業をと企画を進めております。是非皆様方にもご参加ご協力を頂けます様にと願っております。

今年の会頭の年頭の辞は、鈴木市長さん、浜田先生をはじめ、春の県議選を迎える川名・石井先生、秋の市議選を控えた市議会の先生方、井上君津製鐵所長さん達と抱負を語り、旧交暖め、粗縁を埋める機会

として是非この交歓会を有意義に過ごして頂きたいと考え、今年は短くさせて頂きました。地酒も肴も充分用意致してございます。どうぞごゆっくり御過ごし下さる様お願い申し上げます。ありがとうございました。

